



IFRS Topics

June 2010

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

キャノンストリート・プレス

IASBが単一の包括利益計算書を提案

何が問題となっているか？

IASBは、すべての企業に対して単一の包括利益計算書を表示することを要求する公開草案を公表しました。IAS第1号「財務諸表の表示」に対するこの修正案により、現在の基準にある、分離した損益計算書で表示するという選択肢が削除されます。この提案はFASBとの共同により策定され、それに伴い、FASBは米国基準に対する同様の修正案を公表しました。

この提案は純利益の概念を維持していますが、企業に対して包括利益合計も単一の業績を示す計算書に表示することを要求しています。純損益およびその他の包括利益の小計は、単一の包括利益計算書のそれぞれ独立した区分として表示されます。一株当たり利益は引き続き純損益に基づいて計算されます。

本提案では、純損益およびその他の包括利益に表示される項目についての変更はありません。その他の包括利益の要素を総額で計上するのか、もしくは税引後の純額で計上するのかの選択肢は引き続き残されています。将来の期間に純損益に再分類される可能性のあるその他の包括利益に含まれる項目（例えば、キャッシュ・フロー・ヘッジおよび累積為替換算調整額）は、再分類されない項目（例えば、有形固定資産の再評価差額および数理計算上の差異）と区別して表示されます。

本計算書の名称は変更されて、「損益およびその他の包括利益計算書」となります。しかし、当該主要財務諸表についてその他の名称については引き続き使用することもできます。

影響を受ける企業は？

本修正案はすべての企業に影響を与え、業績を示す計算書の様式を変更するものです。現在、分離した損益計算書を使用している企業は、純利益およびその他の包括利益の双方を示す単一の計算書を作成することが要求されます。一方、現在、単一の計算書を使用している企業は、再分類されない項目と再分類される可能性のある項目とを区別するため、その他の包括利益の区分の様式を変更することが要求されます。

純利益または一株当たり利益の測定については変更されていませんが、これらの項目の財務諸表における表示は異なります。経営者は、これらの情報をいかにして投資家や財務諸表のその他の利用者に説明するかについて検討する必要があります。

経営者は何をなすべきか？

本提案に対するコメントの募集期限は 2010 年 9 月 30 日で、IASB は 2010 年下半期には修正案を最終決定する予定です。

経営者は IASB に対して回答するのかどうかについて検討しなければなりません。経営者は、業績の表示についての修正案が与える影響およびこの修正案をどのようにして財務諸表の利用者に伝達するべきかについて検討する必要があります。

あらた監査法人
東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル(〒104-0061)
お問い合わせ: aratapr@jp.pwc.com

© 2010 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate legal entity.